

会長メッセージ

全弓連の来年度の事業計画について、赤字財政のなか、もう少し検証してはという意見も出ましたが、ほぼ前年度に準じて計画案が提出されました。11月末の全国地連会長会議で詳細がはっきりしますが、今後、競技会や講習会に於いて、受益者負担という傾向が強まってくると思います。

奈良県弓道連盟でも、10月21日に部長連絡会が行われ、来年度の事業計画について話し合いをもちました。今後、必要な事業はやっていかなければなりません、参加費負担ということも考えなければなりません。公益財団として、存続していくためには、健全財政が求められています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆全日本女子弓道選手権大会に初めて出場して

野尻 祥枝

第45回大会は明治神宮境内の中央道場にて9月21日から23日に開催。このような大きな道場で引くのは審査以来です。立順13番で、朝一番から控えに入りましたが、すぐに弓矢の点検。急に緊張感が高くなり、落ち着こうと自分に言い聞かせながら、呼吸を整えようと努めました。しかし入場口に立つと、私の後ろの方は今年の優勝者なので迷惑をかけないように歩かなければ...などと思い始め、一層固くなり、自分が息合いで歩いているのか否かも分からないほどに。こうして自分を失ったまま射は終了。午後に向け、落ち着こうと、練習会場の至誠館で他の参加者と3人で一緒に引き、動作呼吸に自分のリズムを取り戻しました。よし、この調子でと、2回目に臨みましたが、無理に力を抜こうとして、またしても失敗。

翌日は決勝選の見取り稽古。各選手が縦線で矢線にしっかり離されるのをさすがと感心、これが私の課題だと思いました。(右上へ)

そして、精神的には緊張にめげず行射に集中する強さを持たねばと痛感しました。初めての出場であり、それだけで幸運と感謝しております。沢山のご支援、応援ありがとうございました。

◆全日本選手権大会(9・19～21)に参加して

西浦 範光

「昨年の轍は踏まない。」と気持ちを新たにして参加させていただいたはずが、同じような結果をなっていました。県連の皆様に応援していただきながら本当に申し訳なく思います。

今回は上体の力みを取り除き行射することに専念しようと決意し、8月後半頃よりの中も上がり出し、良い感じで仕上がってきたなと思いながら出発しました。開会式後の練習の甲矢の「会」まで順調でした。しかし、放した矢は紛れもなく大きく掃き矢をしました。「ええっ!」と、余りにも大きな掃き矢だったので、しばらくその矢が信じられませんでした。気を取り直して少しの緊張感だけを感じながら乙矢を引きました。同じように50cmくらい前からの掃き矢でした。もうパニックです。今までの練習はどこかへ消え去ってしまいました。何回引いても(実際は6射)結果は同じでした。「明日はどうして引こう。」と考える中で、昨年も練習で全くダメで急遽引き方を変えて失敗したことを思い、「今年はこれで行こう。」と決めてきたんだから今まで通りにやろうと決心し当日を迎えました。結果はお聞きと思いますが、2本とも下へ抜けました。

以前会長が「あそこには魔物がいる。」と冗談半分でおっしゃっていましたが、少しずつそう思えるようになってきました。これを乗り越えるには全く意に介さず引くか、精神力を鍛えることしかないのではないかと考えます。

もう3年も出させて頂いているにもかかわらず、結果を残せていないことがいつもご指導いただいている諸先生や、県連の皆様に応援していただきありがとうございます。最後までご声援をいただきありがとうございました。

◆第2回審査講習会・第5回スポーツ指導員講習会

平成24年10月28日、橿原公苑弓道場で標記の講習会が行われました。

主任講師に須田三郎教士七段、講師に西浦範光教士七段と新司正人教士七段の3名と、スタッフとして指導部が担当しました。参加者は、35名(スポーツ指導員16名、中央審査受審者19名)です。

開会式の後、矢渡の代わりに一ツの射礼と持的射礼が行われ、その後一手行射が行われました。昼食後西浦先生の講話(会から離れに至る心の変遷)があり、技術・呼吸・気持ちが一体になることが大切で、余計なことを考えず、ただ自分の成すべき事だけに集中すること、というお話しでした。私も会でのどのように離そうかと悩んでいるところなので、大変参考になりました。でも、そのように出来るかどうか分かりませんが…。

その後、持的射礼と射技研修が4時30分までみっちりあり、3名の講師の先生には熱心にご指導をいただき、心が引き締まる思いがしました。受講者の皆さんもいい勉強になったことと思います。

今回の講習会で一つでも自分にプラスになればいいなと思います。ありがとうございました。(岡本薫子)

◆ 中央研修会(10月12～14日)で得たもの

教士七段 西浦 範光

初めて中央研修なるものに参加させていただきました。昨年度までの「指導力向上指導者講習会」は六段と七段と半々ぐらいの割合でしたが、この研修会は、全員七段です。47名の参加者(女性が9名)は、地連推薦者(大半)と日弓連推薦者が混じっています。

講師の先生は吉本清信範士九段(主任講師)、須田定雄範士八段、柴田 猛範士八段、高橋 範範士八段の4名で、吉本先生の矢渡で始まりました。初日は介添えの講評と一手行射の講評で終わりました。しかし、講評の内容はどの先生も厳しいものばかりでした。次の日の内容を思うと、背筋がゾクッとするような講評でした。

2日目は3名の先生による一つのがあり、その後、場所を研修室に移し講師の先生方の講話。そして、道具を持たずに道場へ集合。教本第1巻だけを持って。それからは教本を読みながら実際に行く。きっちりと出来るまで何回も繰り返し行う。教本の57頁から96頁までを徹底しての実習でした。昼の休憩時には足がばんばんになっていました。午後からも引き続き行われ、時間にすれば午前・午後で合計2時間半だったのですが、その時間はものすごく長く感じられました。この3日間のメインだったと思います。最近の近畿地区指導者伝達講習会でも基本の徹底を少しずつ取り組むようにしてきていると思います。その凝縮版のような感じでした。それから4班に分かれてのグループディスカッション。題材は、①地連審査について、②国際的な普及について、③指導者育成事業について、④競技会についてでした。こちらの方は、午前の内容が押しすぎてしまい時間不足がどの班でも指摘され、中途半端な結果に終わったように思います。その後一手2回の射技研修で2日目が終わりました。

3日目は最初から射礼研修で、昨日習った基本体をどれだけ応用できるかが試され、持ち的射礼では原則の間合いも採用されました。講師の先生方の熱心な指導により、終了時間が約1時間もずれ込むほどの内容でした。(お陰で私は帰りの切符を前もって購入していたものですから、帰るのに重い荷物を持って必死に走りました。そんな時に限って明治神宮で道に迷ってしまい、大変でした。)

しかし、それにしてもこれだけ基本が出来ていないとはちょっと情けないという思いと、もう一度きちんと教本を読み直して練習をする必要があることを思い知らされました。

これからの指導部の講習会はまた厳しくなりそうな気配です。皆さんよろしくご協力の程を。また、この機会を与えていただいた会長先生に感謝申し上げますとご報告とします。

◆ 第15回 奈良県弓道近的選手権大会

日 時：平成24年11月3日

場 所：奈良市弓道場

参加者数：(男子)48名
(女子)53名

競技内容：近的16射



大会結果：

(成年男子の部)

1位 辻本 元威 14中 (香芝)
2位 山口 亮二 14中 (奈良)
3位 乾 光孝 12中 (香芝)

(成年女子の部)

1位 林 秀子 14中 (橿原)
2位 揚田よう子 10中 (奈良)
3位 白井礼子 10中 (教室)

◆ 第65回 近畿高等学校弓道大会

日 時：11月3日(土)～4日(日)

場 所：橿原公苑弓道場

大会結果(県内入賞者)

男子個人 2位 今西 達也(王寺工業)
4位 當麻 直哉(高田商業)
5位 相原 卓弥(畝傍)
女子個人 1位 前田 知明(高田商業)
4位 泉 ひかり(奈良北)

(高体連)

◆ 平成24年度全国高等専門学校弓道通信大会結果

昭和54年より始まり本年度で第34回を迎えた標記大会は、国公立立合わせて57校の高専のうち弓道部が設置されている26校が参加し、各々の地区大会結果などを主管校の有明高専に送付・集計することで実施されました。高専の体育大会において弓道競技は弓道部設置校の少なから大会公式種目とできない実状があり、全国大会はこのような通信方式によって行われます。今回、奈良高専は女子個人の部において遠近あすか選手が11中/12射で優勝するとともに應治沙織選手が7中/12射で準優勝(同中入賞)を果たし、全弓連より副賞の記念メダルを拝受いたしました。これも偏に、奈良県弓道連盟、郡山市弓道協会の諸先生方、高体連弓道部顧問の先生方の日頃よりのご指導のおかげであると、末筆ながら御礼申し上げますとともに、今回は叶わなかった団体の部での入賞、さらには高専における弓道競技のレベルアップを目指し、今後も部員一同稽古に励んでいきたいと思っております。

(奈良高専弓道部顧問 谷口幸典)

◆ 第31回全国高等学校弓道選抜大会 県予選会

日 時：11月10日（土）～11日（日）

場 所：橿原公苑弓道場

男子個人 1位 今西 達也（王寺工業）

2位 岩崎 郭生（法隆寺国際）

3位 松谷 康平（法隆寺国際）

女子個人 1位 岡本 美奈（郡山）

2位 田中 里佳（郡山）

3位 山床 杏莉（平城）

男子団体 1位 高田商業高校

福岡良剛・藤本凌介・當麻直哉・松村怜

2位 西の京高校

久次米陸・伊地知滉人・中岡稜・峯川昇二

3位 五條高校

清水寛輝・後藤郁弥・曾我部弘瑛・

南谷丞美

女子団体 1位 高田商業高校

前田知明・平松麻奈・上野舞子・橋本瑞希

2位 郡山高校

松本彩花・下村桃香・田中里佳・岡本美奈

3位 平城高校

山床杏莉・小西里帆・橋本あかり・

西岡くるみ

男女個人1・2位と団体1位校は12月24日～26日
まで相模原市で行われる、全国高等学校弓道選抜大会への
出場権を得ました。また、昨年度女子団体で技能優秀校に
選ばれた高田商業高校に出場権があるので女子団体2位
校にも出場権があります。

(高体連)

全国高等学校弓道選抜大会 奈良県代表

男子個人 今西 達也（王寺工業）
岩崎 郭生（法隆寺国際）

女子個人 岡本 美奈（郡山）
田中 里佳（郡山）

男子団体 高田商業高等学校
女子団体 高田商業高等学校
郡山高等学校

編集後記

全日本大会出場者からの投稿、研修会での様子、高校生の大会記録など今月もたくさんの情報をお届けすることができました。文章からは大会や研修会での様子が伝わってきます。我々も日々の修練において留意しなければならぬことなのでしょう。

今後も奈良県弓道連盟会員皆さんにできるだけタイムリーな情報をお届けできるようがんばって参ります。

最後になりましたが、全国高等学校弓道選抜大会へ出場される奈良県代表の皆さん、体調に気をつけて平素の力をぞんぶんに発揮されますことを願っています。